

4 助成事業の結果報告

《提出書類》

◎共同募金助成事業結果報告書(②-1)

◎助成事業結果報告明細書(②-2)

整理番号	2020	000	②-1 〇〇発第〇〇号 令和3年〇〇月〇〇日	
【共同募金使用欄】	事業所コード			
社会福祉法人埼玉県共同募金会 会長 池田一義様				
法人・団体・運営主体名	社会福祉法人さいたま赤い羽根会			
代表者職氏名	理事長 羽根 和子			【印】
担当者氏名	赤羽 一郎	TEL	048-123-4567	
共同募金助成事業結果報告書 共同募金助成事業について、下記のとおり報告します。 記				
1 執行額	【助成金充当額】 ※1	15,000円	【事業費総額】 ※2	20,000円
2 執行残及び返還予定日	【執行残(返還額)】 ※3	1,000円	【返還予定日】 ※4	令和4年 〇月 〇〇日
3 助成決定資金 (該当する資金の記号を○で囲む)	<input checked="" type="radio"/> ア 赤い羽根共同募金		<input type="radio"/> イ NHK歳末募金	
4 助成事業	別紙②-2「助成事業結果報告明細書」のとおり			
5 返還金送金口座	ジャイフのりバンクさいたま支店 普通 459443 社会福祉法人埼玉県共同募金会			

※1 【助成金充当額】は、「助成事業結果報告明細書②-2」の各事業の助成金充当額の合計額と一致すること。

※2 【事業費総額】は、「助成事業結果報告明細書②-2」の各事業の事業費総額の合計額と一致すること。

※3 各事業で、助成金の残金がある場合、金額を記入してください。(実施要領P 参照)

※4 返還金を所定口座に入金する予定日を記入してください。

助成事業結果報告明細書

②-2

No. _____

※1

団体・施設名 社会福祉法人さいたま赤い羽根会
所在地 _____

事業名	指導者養成講習事業 ※2	共同募金使用欄
実施時期	※3 <input type="checkbox"/> 通年 <input checked="" type="checkbox"/> 短期(7月) <input type="checkbox"/> シーズン(月 ~ 月)	
実施回数	※4 2回	総対象者数 70人 部数・個数 部・個
助成金充当額	15,000円	事業費総額 ※5 20,000円
【使途分類コード】 《コード5000番台》	※6	

【使途明細】

項目	金額	内訳
講師謝金	10,000円	5,000円×2回
会場借上げ料	4,000円	2,000円×2回
資料代	3,000円	
通信費	2,000円	
消耗品費	1,000円	

【事業の成果や効果】

※7

講師による分かりやすい指導で、参加者のスキルアップが図れたとともに、同じ立場の人たちとの情報交換、悩みごとの共有など、交流を深めることができた。
参加者から「参加してよかった」、「私の知らない情報もあって参考になった」などの声が聞かれました。

※8

- 1 記入欄が不足する場合は、この用紙をコピーしてください。
- 2 添付書類(結果報告書、この用紙の後に順番に左とじにしてください。)
 - (1) 完了届(写)、または納品書(写)、請求書(写)、領収証(写) 助成対象事業の完了写真
 - (2) 助成対象事業の完了写真(標示が入ったもの)、助成事業を紹介した広報媒体(広報紙やホームページのプリントアウト、チラシ等)

- ※1 助成決定事業の主たる実施場所を記入してください。
- ※2 決定通知記載されている事業名を記入してください。
- ※3 該当する項目に、チェック☑をし、実施月を記入してください。
 ◇通年とは、年間を通じて複数回実施する事業。
 ◇短期とは、実施回数が一度の事業。
 ◇シーズンとは、季節によって限定される事業。(偶数月等の隔月の場合もここに記載)
 例 6、8、11月に開催の場合は、6月～11月と記入。
- ※4 「実施回数」は必ず記入してください。「総対象者数」または「部数・個数」はいずれかを記入してください。
- ※5 事業単位で、使途明細の合計額と事業費総額が一致するようにしてください。
- ※6 共同募金助成事業コード表 実施要領P. 6《使途分類コード》から該当する使途内容を選択して記入ください。(複数回答可)
- ※7 事業を実施して、どのような成果があった、こんな効果があった、参加(利用)者からの感想などを具体的に記入してください。
- ※8 添付書類の付け忘れに注意して、送付する際に、チェックしてください。